

## シャリンバイ ペリドット

商品名	シャリンバイ ペリドット		
学名	Raphiolepis indica 'Peridot'		
和名/別名	車輪梅(紅花)	英名	Peridot
原産地/生育地	インド/日本	植物分類	バラ科 シャリンバイ属
園芸分類	常緑 低木		
樹高	30cm～70cm	樹幅	30cm～70cm
生育条件	用途	地植え・鉢・コンテナ・緑化工事	
	日当たり	○	日が十分当たる
		○	午前中だけ日が当たる 木漏れ日程度の日が当たる
		△	無理なく読書できるくらいの明るさ *葉の美しさが出てこない
	耐寒性	○	地面の凍結・風雪に耐える
		○	屋外で越冬可能 *福島県の山間地でも生育・開花
	耐暑性	○	元々耐暑性のある樹種
耐乾性	○	元々耐乾性のある樹種	
栽培管理	地植え場所	水はけが良く風通しの良いところがベストだが、あまり気にしなくて良い。	
	地植え土質	水はけの良い状態がベストだが、あまり気にしなくて良い。	
	鉢植え用土	過湿は良くないので、水はけが良いものを選ぶ。	
	鉢サイズ	購入サイズの2～3号大きめの鉢に植え替える。	
	水やり	土の表面が乾くか、葉に勢いが無い時に澆水する。	
	栽培ポイント	花後の枯れた花房を除去してやると、その後の芽吹きがしやすくなる。また剪定はほとんど必要ないが下向きの枝や混雑している枝などを除去すると樹形が良くなる。	
	施肥	植え付け後、用土が落ち着いてから市販の緩効性肥料を適量施肥する。	
	病虫害対策	周囲にレッドロビンなどが植栽されている場合は、ゴマ色斑点病の発生に注意する。	
他品種との違い	<p>一般に流通している紅花シャリンバイとペリドットとの違いは花数とメンテナンス性にある。ペリドットは花数が他品種の倍以上になることが品種特性として認められている。またその花房も比較的短いため、開花時に花の重みで枝が曲がって樹形を損ねてしまうということはない。さらに他品種は成長が早く、また徒長枝も多いため剪定しなければ樹形を維持できないが、ペリドットの場合は分枝性が良いため枝数が多くなり全体的に成長していく特徴があり、ほとんど剪定の必要性を感じないロー・メンテナンス性を有している。緑地帯などに植栽されているシャリンバイの開花を見ることが少ないのは花芽が剪定されてしまっているためで、ペリドットは同じ時期に開花を楽しんでもらえる品種。</p>		
登録情報	登録名	Peridot	
	登録番号	第19292号(2010年3月11日)	
	育成権者	山下 文吾	
	その他	ジャパンフラワーセレクション(JFS)2012-2013受賞品種	